

さんようおのだ 議会だより

3月定例会〈概要〉 — 2

委員会レポート — 4

一般質問 — 7

視察報告 — 10

お知らせ — 12





3月定例会

事業評価を中心に

平成24年度一般会計予算は、13人による「予算審査特別委員会」が設置され、4日間にわたって審査を行いました。今回は初めて46項目の実施計画と事業評価シートの資料提出を受け、これらを中心に審査をし、予算を賛成多数で可決しました。さらに、7項目の附帯決議を全員賛成で可決しました。以下、主な議論を中心に予算の審議状況をお伝えします。

山陽消防庁舎建設(4億5713万円)

平成23年度に土地購入、24年度に建設工事に着工する。鉄筋2階建、訓練塔、倉庫棟、ホース乾燥台などを併設する。

<論点>

FDKからの土地購入の経緯や適正価格について意見が出されました。広域消防になるため地元マンパワーの確保など人事異動への配慮に要望が出され、旧国道2号への出勤時の信号機の設置はしないとの答弁がありました。

山陽地区公共施設再編(1500万円)

厚狭、埴生地区の老朽化した公共施設の統廃合のため、平成23年度に庁内プロジェクトで素案策定し、利用者等の意見を聞き基本構想をつくり、24年度に基本設計を委託する。

<論点>

「まちづくりの主役は市民」と標榜しているが、素案は行政がつくり、利用者・一般市民の意見聴取が後になる手法への疑問が出され、附帯決議に一項目加えられました。

地域公共交通活性化(678万円)

生活交通活性化協議会が地域公共交通のあり方について検討しており、平成24年度は厚狭北部便のバス路線見直しを予定している。

<論点>

地域住民のニーズをどう掴むのか、また協議会のあり方などが議論され附帯決議に盛り込むことになりました。

新ごみ処理施設整備(10億5994万円)

平成22年から基本計画の策定や検討委員会などを開催しており、平成24年度から建設工事着工となる。

<論点>

ごみの減量化とビニールごみ、プラスチックなどの分別収集の徹底などが議論され、平成27年度で平成20年度比で11.8%の減量になるとの回答がありました。

学校図書支援員配置(2750万円)

市内18小中学校の図書室に専任の図書支援員を配置し、学校の司書教諭の配置基準に基づいて適切な指導を行う。

<論点>

司書、教員、司書教諭の免許等が必要な図書支援員の役割と研修などに強い要望が出され、また授業への資料提供など図書支援員の今後の活動への期待が寄せられました。



委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

一 般 会 計

● 23 年度補正予算（第 8 回）

小野田公衛社の株式を売却

概要 小野田公衛社の株式は、総数 2 万株の 100 パーセントを市が所有していましたが、約 7 割の 13900 株（一株、約 14512 円）を売却し、歳入として株式等売却収入に 2 億 172 万 1000 円を計上するものです。また、許認可権を持つ市が 100 パーセント小野田公衛社の株式を所有することは、法的に違法ではないが、適正を欠くとの見解も示されました。

売却によって不利益はないか

主な論点 「旧小野田市において（昭和 45 ～ 47 年前後）、小野田公衛社の運営の苦情が多発したことから市が全株を購入した。このような経緯から考えると、今回の株式売却で市民サービスに影響が出ないか不安である」「今回の株式売却先は小野田公衛社で、残りの株は小野田公衛社とその役員に限定しているが、売り渡し先を限定しない場合には、高額売渡の可能性もあるのではないか」「売り渡し金額は、適正であったか疑問だ」「市民に不利益とならないよう、相手方と確約書を交わすべきだ」等々の意見や疑問が出されました。

審査において、内容説明の関係資料が提示されず、口頭でされるなどの不備がありました。そこで、委員会から資料提出や市長の委員会出席を求めるなど慎重に審議を進めました。

結果 安定的な運営に向け株式譲渡に関する

「確認書」が新たに提出され、今後の売払いについては、公衛社の経営状況を勘案し売却する等々の説明を受け、可決しました。

（全員賛成）

請 願

●給食センター建設についてもっと時間をかけて検討することを求める請願

請願を全員賛成で採択

概要 子どもたちの学校給食を考える会から出されたもので、その趣旨は「給食センター建設について教育委員会の進め方に疑問がある。子どもたちにとって何が一番望ましいのかを、市民が納得できるように、もっと時間をかけ市民と検討してほしい」ということです。

主な論点 「給食のあり方検討会議の意見が反映されていない」「保護者への説明が十分でない」「いろいろなシミュレーションを示すべき」「委員会としてもしっかり調査すべき」との意見が出ました。

結果 教育委員会に対し資料の請求を行い詳細な説明を求めるなど、委員会として閉会中の調査事項として取り上げていくこととし、採択しました。

（全員賛成）



給食の準備のようす



委員会レポート

■ 総務文教常任委員会

● 埴生小・中学校連携校計画白紙撤回・再検討の要望に関する請願

請願を継続審査へ

概要 埴生小学校 PTA から出されたもので、「保護者アンケートで7割が反対であり、保護者への説明が十分されていない」「埴生の総意ということで連携に賛成と表明されたが、保護者の意見が反映されていない」など多くの問題があるため、「教育委員会が推進している埴生小中連携校建設計画の白紙撤回・再検討を請願する」というものです。

主な論点 「今すぐに請願を採択すべきである」「議案が出されていない段階で、白紙撤回の請願を採択するのはいかがなものか」「もっと委員会として継続して調査すべき」

などの意見が出ました。

結果 結果はまだ議案が提出されていないこと、さらに調査をする必要がある等のことから継続審査となりました。

(賛成多数)



埴生小学校

■ 産業建設常任委員会

一般会計

● 23 年度補正予算（第 8 回）

厚狭川新橋 完成が1年延期に

概要 厚狭川新橋の架け替え工事は、予定では 24 年度末までに橋脚全体が完成することになっていましたが、設計上に大きな問題点が生じ工事が中断、予定されていた工事を根底からやり直すことになってしまいました。地元住民を対象にした説明会が開催されましたが、住民側が行政の説明に納得せず、再度説明会をやり直すことになっています。当初の予定では、橋脚土台のまわりを土のうでせき止めて工事に入ることとされていましたが、矢板を打ち込んで川をせき

止める工法に変更となりました。また、矢板を打ち込むにあたり、橋脚土台となる付近にボーリング調査を行いました。この時点では矢板を岩盤に打ち込めば土台ができるとされ、矢板を打ち込み、その内側を掘り進んだところ岩などが崩れ、矢板が内側に傾いてしまいました。

主な論点 「岩盤の中に軟弱地盤があったために、掘った壁が崩れたとされたがボーリング調査でなぜ発見できなかったのか」「施工方法に問題はなかったのか」などの議論がされました。

結果 最終的に予算は承認されましたが、追加の工事が必要になり、そのために必要な工事金額 3000 万円が新年度に計上されます。
(全員賛成)



委員会レポート

■ 民生福祉常任委員会

一 般 会 計

● 23 年度補正予算（第 8 回）

ごみ焼却場（2 号炉）を一時停止

概要 ごみ焼却場 2 号炉のバグフィルター故障のため、777 万円をかけ修繕し、そのため約 1 カ月運転を停止しました。

主な論点 10 年前に大改修しているが、24 時間の連続運転に変わったために炉の延命化に結びつかなかったなどの議論がされました。

結果 ごみ減量化推進に向けて市民へのアピールなどの指摘があり可決しました。

（全員賛成）

特 別 会 計

● 24 年度訪問看護ステーション会計予算

患者が望めば事業継続する

概要 予算は前年度比で 764 万円 32% 減額となり、1116 万円を基金の繰入金で補っています。

主な論点 「患者が減っても職員は最低基準で 2.5 人必要で、基金は約 4000 万円しか残っていない」「24 時間の民間事業所の進出もあり、今後の事業展開は厳しい」などの議論がされました。

結果 患者が望めば事業継続は行うとの答弁があり可決しました。

（全員賛成）

介護保険料を月額 990 円値上げ

● 24 年度介護保険会計予算

概要 保険料改定により基準介護保険料が月

額 990 円アップの 4900 円、保険料徴収段階を 9 ランクから 11 ランクに変更しました。

主な論点 保険料収納率は 98.7% だが、年 18 万円以下の年金は保険料の天引きができないため滞納となるケースが生まれているなどの議論がされました。

結果 今後の保険料のあり方などに対して反対討論がありましたが、可決しました。

（賛成多数）

企 業 会 計

● 24 年度病院会計予算

外来・入院患者数ともに見込減

概要 外来 465 人、入院 185 人と昨年比で見込減の設定で、病床利用率 85%、平均在院日数は 16 日です。今年度分の新病院建設事業費 4 億 2800 万円、医師住宅撤去費 4500 万円などが計上されました。

主な論点 外来、入院患者数の見込減設定のあり方、ジェネリック医薬品と高い医薬材料費、山陽地区からの直行バスの運行、地域医療ネットワーク、新病院基本設計の考え方などが議論されました。

結果 病院会計への附帯決議をつけることなどを確認し可決しました。

（賛成多数）



山陽小野田市民病院



一般質問

財政的理由で1センター提案

河野 朋子 議員

問 “給食のあり方検討会議”では「自校式がいいが、どうしてもというのなら、1カ所ではリスクも大きいので、せめて複数箇所のセンターで」という意見が多く「5500食のセンター1カ所」に賛成した人はひとりもいなかった。教育委員会では「検討会議の意見を踏まえて方針を出す」と言ったのに、その後、全く当初と変わらない1カ所を提案している。1カ所にこだわる理由は。

答 一番の理由は財政面である。実現可能な方法として1カ所を提案している。



埴生地区公共施設等の有効活用

河崎 平男 議員

問 糸根公園施設や青年の家周辺には、たくさんさんの公共施設がある。なかでも天文館は、今から46年前の昭和41年に設置されもので「ミノルタMS10」という日本で開発された最も古い機種である。現役最古のものとして稼働しているこの天文館の有効活用ができないか。

答 公共施設再編の最中ではあるが、埴生地区のシンボルとして、天文館を残して、それをまちづくりの中心として考えている。



改修が必要な天文館

厚陽・埴生小中校建設の進捗状況は

石田 清廉 議員

問 厚陽小中一体校建設は地域住民、保護者の要望に答えているのか。また今後の埴生小中一体校建設のモデルになりうるのか。埴生地域住民、保護者に対する事業の説明は十分理解を得られるのか。

答 厚陽小中校の完成については地域や保護者から満足を得られるものだ。埴生地区においては事業の説明不足もあって保護者や住民の皆さんの理解を得るに至らなかった。改めて地域住民との協議を重ねまちづくりの核になるような建設計画を提示していく。



厚陽小中一体校が完成しました

素晴らしい病院建設を

小野 泰 議員

問 地域医療ネットワークシステムの構築は、市民病院と地域の医療機関をネットで結び、患者さんに安心・安全な診療を受けていただくためのものであるが、新病院オープンに合わせて実施できないか。

答 当該システムを住民を中心とした医療情報の橋渡しとしてとらえ、新病院に向け健康福祉部、医師会、地域医療機関との連携を図りながら、地域医療ネットワークシステムの構築に推進していこうと考えている。



新病院完成予想図



一般質問

新病院建設場所の根本的見直しも

伊藤 武 議員

問 2月の市主催の防災講演会で、津波地震の専門家から「4月ごろに中央防災会議報告で、今まで以上の津波発生可能性がある」との発言があった。一時避難箇所を病院二階建て部分の屋上にとの計画だが、58億円もかけて病院を造り三階まで逃げる状況となる。小野田地区を中心に一時避難箇所建設を行うとともに新病院建設地の見直しが必要では。

答 中央防災会議の結果次第で、市全体と新病院の建設場所を根本的に見直さなくてはならないこともある。



新病院の模型

見えない「心の栄養」もあるんだよ

岩本 信子 議員

問 学校での説明会で「給食センター建設についての説明会に参加して」と参加者にアンケートを配布し、保護者から意見を集めているがどう取り扱うのか。

答 アンケート用紙の実物を見ていない。説明会で出た意見と回答は全体的に把握している。食育について「心の教育」であると多くの方が思っているが、食育の定義は食に関する正しい知識・食の選択判断力を養う学習等であり、立脚点が違うと議論がかみ合わない。非常に難しいと感じている。



初めての給食
なにかな？

市民の不安を解消できるのか？

伊藤 實 議員

問 「夜中に子どもが高熱を出したなど、交通事故や救急で救急車を呼んでも、受け入れ病院がないため、なかなか出発しない。挙句の果て、市外の病院へ搬送された」との多くの市民の不満、不安の声だが、新病院が建設されれば24時間365日の救急医療ができるのか。

答 当直医は、入院患者を中心に行い、1人で対応せざるを得ない。当直の回数が増えると、翌日の診療に影響し、医師の負担が大きくなり、とてもやっていけないというのが現状である。



高齢者支援について

中村 博行 議員

問 近年高齢化が急速に進行しているが、高齢者の交通事故対策や振り込め詐欺対策、また独居者支援についてはどうしているか。

答 交通事故対策は交通安全教室の開催、高齢者交通安全指導員の要請、運転免許証自主返納の推進をしている。振り込め詐欺対策は警察や金融機関と連携し、広報活動に努めている。独居高齢者（昨年：2492人）支援は、民生委員、自治会長等と連携して地域で自立した生活が送れるよう福祉サービスの充実に努めている。





一般質問

理念なき大型開発ではないか

下瀬 俊夫 議員

問 今回の予算は白井市政2期目の最後の予算となるのに、白井市長の施政方針ではまちづくりの思いや理念が見えてこない。理念なき大型開発ではないか。

答 まちづくりの総合計画に基づく実施計画に従って予算化した。優先度の高い事業を厳選して特に防災・減災事業に力を入れた内容となっている。合併特例債の活用は老朽化した施設の再編などの優先度が高くなり充当されている。施政方針は部内で協議し決定した文書で誰が答弁に立っても違和感はない。



近代遺産に指定された皿山の里

衛 藤 弘 光 議員

問 山陽小野田市文化振興ビジョンによると、旧小野田市で計画していた皿山の里構想を断念したが、小野田の発展に尽力された先人の方々に申し訳ない気持ちだ。取得した土地の一部を、付近の近代遺産巡りの人たち用の駐車場にできないか。

答 市文化振興ビジョン検討委員会の意見を受けて、教育委員会において検討後、皿山の里構想は断念した。三好邸付近の近代遺産施設の案内板を含めた中で、の駐車場建設については検討課題にする。



河野製陶所跡

不況の今こそ、中小業者に仕事を

中 島 好 人 議員

問 業者から、「仕事がない、あっても単価が安くて生活できない」と言う声があがっている。地域経済を支える中小企業への本格的な支援が必要である。宇部市でも制定された「中小企業振興基本条例」の制定や官製ワーキングプアを作り出さないために「公契約条例」の制定をすべきではないか。

答 「中小企業振興基本条例」は宇部市にできており、当市にできないはずがない。「公契約条例」制定と合わせて年内あたりをタイムリミットにして取り組む。



仕事があるっていいな

なぜ市民の前に出ない？教育委員

山 田 伸 幸 議員

問 市教委による学校給食センター化に向けた市民説明会が開催されたが、教育委員は出席しなかった。学校規模適正化の際には、全教育委員が各校区の説明会に出向いたが、今回は住民の前に出ないのはなぜか。

答 給食センターについて市民からの意見聴取と決定したことを報告するということは別である。専門家を含む検討会議で意見を聞き決定した。決定後の報告だから事務局の説明でよいと考えた。さらに意見を聞くためパブリックコメントを実施することにした。





一般質問・視察報告

「食育」の本質はなにか？

平 原 廉 清 議員

問 「弁当の日」実践校は全国で 834 校ある。これは「弁当作りは食育」の観点から取り組まれ、弁当や食材を作る人たちへの感謝の念が自然に芽生えるのも立派な食育であり、学校と家庭と地域が連携して食育を担当するという。この意見に対する教育長の感想はどうか。

答 食育とは食に関する知識と食を選択する判断力を養う学習等の取り組みを指す。これを楽しく身につけるにはということ。「弁当の日」は地
 でいく良い取り組みだ。当市も実施した
 と思う。



公平・公正な契約方法に改善！

吉 永 美 子 議員

問 プロポーザル契約について指標、指針となるガイドラインはあるが、どの部署が担当しても審査方法が変わらないように、早期にマニュアルを作っていたいただきたい。よほどの時でないでと学識経験者が審査委員に入らず、まさに内部だけでの協議になっていく。この点も含めてマニュアルを作成すべきと思うがどうか。

答 市長に契約の報告さえなくなっている。きち
 んとしたマ
 ニュアルを作
 らせる。



◎総務文教常任委員会

視察者 ■ 伊藤 實 河野朋子 伊藤 武
 河崎平男 高松秀樹 中島好人
 中村博行 平原廉清

視察日 ■ 1 月 31 日～2 月 2 日

＜東京都葛飾区＞

- ①小中一貫教育の現状
- ②小中一貫教育により期待される効果
- ③学校選択制、通学区域の方針

＜千葉県八街市＞

- ①教育行政事業評価の実施状況
- ②幼小中高連携教育の推進状況
- ③地域連携における教育的効果

＜千葉県習志野市＞

- ①行政事務事業評価の状況
- ②外部評価の実施の方法

③公共サービス市民協働提案制度の概要
 ＜千葉県木更津市＞

- ①給食センター整備の概要
- ②センター方式における食育の推進状況
- ③アレルギー対応状況
- ④センター運営方式の現状



木更津市での視察



視察報告

◎民生福祉常任委員会

視察者 ■ 大井淳一郎 矢田松夫 石田清廉
岩本信子 小野 泰 下瀬俊夫
三浦英統

視察日 ■ 2月8日～10日

＜滋賀県草津市＞

- ①災害時要援護者避難支援プラン計画
- ②災害時市内一斉緊急放送システム運用

＜滋賀県大津市＞

- ①保健師の予防活動と子育て支援策
- ②すこやか相談所と地域包括センターの機能、設置場所、保健師の役割、併設による一元管理の効果

＜大阪府枚方市＞

- ①病院の特色や医療機関と保険・福祉とのネットワークづくり

- ②病院の経営健全化

＜大阪府箕面市 箕面市立病院＞

- ①電子カルテのデータの共有化による地域医療ネットワークの構築
- ②病院経営の改善目標は病床利用率の向上
- ③断らない2次救急などの取り組み



大津市子育て総合支援センターを見学

◎産業建設常任委員会

視察者 ■ 衛藤弘光 松尾数則 江本郁夫
硯谷篤史 山田伸幸 吉永美子
尾山信義

視察日 ■ 2月1日～3日

＜埼玉県秩父市 みやのかわ商店街＞

- ①地域通貨（和同開珎）の経済効果
- ②出張商店街の実施状況
- ③買い物ボランティアを活用した買い物弱者への支援
- ④ナイトバザールによる集客効果
- ⑤テレビアニメを活用した集客イベント
- ⑥古い旅館を改装した情報発信センター「ほっとすぽっと秩父館」の利用状況

＜埼玉県ときがわ町＞

- ①小中学校の耐震化工事への町有林の有効活用
- ②町産林を使用した住宅改修工事への補助制度

＜群馬県太田市＞

- ①水道事業の包括民間委託の概要
- ②民間委託による経費削減効果



秩父市みやのかわ商店街での視察

◎議会の傍聴のご案内

■本会議の傍聴

本会議の定員は、報道関係者を除き 35 人で、他に車椅子（2 人）の方のための傍聴席もあります。入口で傍聴人受付票に住所、氏名、年齢を記入していただきます。

■委員会の傍聴

委員会の定員は、一般席 3 人・報道関係者席 3 人です。委員会の開催日の午前 8 時 30 分からその委員会の終了前まで随時受け付けますので、議会事務局へお申し出ください。

なお、審査内容によっては非公開となる場合があります。委員会の開催日については、議会事務局へお問い合わせください。

■6 月定例会会期日程（予定）

月 日	本会議
6 月 11 日(月)	議案上程・説明
6 月 18 日(月)	一般質問
6 月 19 日(火)	一般質問
6 月 20 日(水)	一般質問
6 月 21 日(木)	一般質問
6 月 22 日(金)	一般質問
6 月 27 日(水)	質疑・討論・採決

※開会時間は午前 10 時です。

ニュース

議会改革を進めていきます！

議会基本条例を制定

地方分権が進み、議会の役割が今まで以上に重要となる中で、市議会では「議会のありべき姿や理念を条例にしよう」と特別委員会を設置し、2 年余り取り組んできた条例案が、3 月議会で可決されました。条例には会議の公開や議会報告会、市民懇談会の実施など議会改革を進めていくためのルールが盛り込まれています。今後はこの条例のもとで、さらに「透明性のある議会、開かれた議会」を目指して議会活動をしていくことになります。



3 月定例会のようす

編集室より



議会基本条例の 4 月施行を受け、議会改革元年の滑り出しです。早速「議会改革推進会議」及び「適正な議員定数を検討する議員協議会」（ともに議長の諮問機関）を立ち上げ、活動を開始しています。

また、「議会報告会」も重要な位置づけです。今後、次第に活発な報告会となるよう努力してまいります。

◎広報広聴特別委員会

委員長	河野 朋子	副委員長	下瀬 俊夫
委員	石田 清廉	委員	伊藤 武
委員	硯谷 篤史	委員	高松 秀樹
委員	平原 廉清	委員	山田 伸幸



《表紙の説明》 今春開校した厚陽小中学校は市有林を活用して建築されましたが、産業建設常任委員会ではその視察に行きました。校舎内は木の香りに包まれていて、交流スペースに置かれたヒノキのベンチも、温かみがあって座り心地がよかったです。